

第2次健康やまがた安心プラン 目標指標の進捗状況及び主な取組みについて（R8.2月末時点）

資料1

令和8年2月末時点

評価の説明 A:達成 B:おおむね改善(2割以上) C:横ばい(2割以内の増減) D:悪化(2割以上) ー:評価不能												令和8年2月末時点	
※令和10年実施予定の県民健康・栄養調査で得られた数値をベースラインとする。													
通し 番号	分 野	目 標	評 価 指 標		指標出典	指標の更新頻度 次回公表時期	プラン 策定時	直近値	目標値	評価	令和7年度の県の主な取組み（実績）	令和8年度 of 取組み予定	
1	全体目標	健康寿命の延伸	日常生活に制限のない年齢 (健康寿命)の平均	男性	厚生労働省研究 班資料	3年毎 次回調査R7 公表時期R9.12月	72.65 (R1)	72.09 (R4)	平均寿命の 延びを上回 る健康寿命 の延伸	ー	(栄養・食生活～歯・口腔の健康までの施策を推進)	(栄養・食生活～歯・口腔の健康までの施策を推進)	
女性				75.67 (R1)			75.29 (R4)	ー					
1-2			平均寿命と健康寿命の差【参考値】	男性	厚生労働省研究 班資料 都道府県別生命 表	ー	8.74 (R1)	9.30 (R4)	(平均寿命と 健康寿命の 差の縮小) (R14)	ー			
				女性			11.71 (R1)	12.09 (R4)		ー			
1-3			平均寿命【参考値】	男性	都道府県別生命 表	5年毎 次回調査R7 公表時期R9.12月	81.39 (R2)	同左	ー	ー			
				女性			87.38 (R2)			同左			ー
2	栄 養 ・ 食 生 活	適正体重を維持し ている者の増加	20～50歳代男性の肥満者の割合 (肥満者:BMI25以上)		県民健康・栄養 調査	4～6年毎 次回調査R10 公表時期R12.4月	35.4% (R4)	同左	28% (R14)	ー	○「減塩・ベジアッププロジェクト」の展開 ・「やまがた健康づくり応援企業」によるベジアップ商品、減塩商品の 啓発、販売 ○生活習慣病予防CM動画の配信（減塩・ベジアップ編） ○「やまがた健康フェア2025」の開催（9月） ・保健医療関係団体や企業と連携し、食生活改善を啓発 ○「やまがた健康づくり大賞」（健康経営部門、減塩・ベジアップ推進部 門）による優良事例の普及 ○地域食生活・健康情報ステーション（県HP）による情報発信 ○出前講座の実施 ○食生活改善推進員の地域活動による減塩の啓発	○「減塩・ベジアッププロジェクト」の展開を継続し、減塩や野菜摂取量 の増加を促す。 ○イベントや県ホームページ、動画配信、出前講座などを通して「望まし い食生活」の普及啓発に努める。 ○生活習慣病予防CM動画を配信（減塩・ベジアップ編）し、啓発を行 う。	
3		適切な量と質の食 事をとる者の増加	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回 以上の日がほぼ毎日の者の割合(20歳以上)				ー ※		50% (R14)	ー			
4			野菜摂取量の平均値(20歳以上)				291.9g (R4)		同左	350g (R14)			ー
5			果物摂取量の平均値(20歳以上)				104.2g (R4)		同左	200g (R14)			ー
6			牛乳・乳製品摂取量200g以上の者の割合 (20歳以上)				24.2% (R4)		同左	35% (R14)			ー
7			食塩摂取量の平均値(20歳以上)				10.5g (R4)		同左	8g(R10) 7g(R14)			ー
8	身体活動 ・運 動	運動習慣者の割合 の増加	運動習慣者の割合(20歳以上)	男性	県民健康・栄養 調査	4～6年毎 次回調査R10 公表時期R12.4月	45.6% (R4)	同左	50% (R14)	ー	○ウォーキングプロジェクトの展開 ・健康長寿日本ーウォーキングWEB大会、デジタルウォーキングスタン プラリー、歩き方教室の開催 ○健康経営の推進、働き盛り世代の健康UPサポート事業費補助金による 支援 ・従業員の健康の保持・増進のためにウォーキングの取組みを行う企業 に助成 ○生活習慣病予防CM動画の配信（運動・ウォーキング編） ○やまがた健康マイレージ事業の実施 ○「やまがた健康フェア2025」の開催（9月） ・関係団体・企業と連携し、運動習慣の定着を啓発 ○健康運動指導者研修会の開催 ○県スポーツ・レクリエーション祭の開催【スポーツ振興課】 ○総合型地域スポーツクラブへの支援【スポーツ振興課】	○引き続き「ウォーキングプロジェクト」を実施するとともに、イベント や県ホームページ、動画配信などの情報発信を通して、働き盛り世代から シニア世代まで、広く県民が日常生活に運動を取り入れるよう促してい く。 ○生活習慣病予防CM動画を配信（運動・ウォーキング編）し、啓発を行 う。 ○老若男女が参加しやすいスポーツ交流会を実施する等、スポーツを実践 する機会を提供していく。【スポーツ振興課】	
9				女性			36.1% (R4)		同左	40% (R14)			ー
10		1日あたり平均歩 数の増加	1日の歩数の平均値(20～64歳)	男性	国民健康・栄養 調査	6年毎	7,098歩 (H28)	8,581歩 (R6)	8,000歩 (R14)	A			
10-2				女性			5,893歩 (H28)	6,612歩 (R6)		B			
11	休 養 ・ 睡 眠 ・ こころの 健 康	睡眠を十分とれて いる者の割合の増加	睡眠による休養を十分とれている者の割合(20歳 以上)		県民健康・栄養 調査	4～6年毎 次回調査R10 公表時期R12.4月	78.2% (R4)	同左	80% (R14)	ー	○「やまがた健康づくり大賞」（健康経営部門）による優良事例の普及 ○「心のサポーター」の養成【地域福祉推進課】 ・県、市町村、民間団体で養成講座等を実施 ○心のサポーター養成のためのファンリレーターの育成【地域福祉推進 課】	○健康経営に係る県独自の認定制度を新たに設けるながら普及啓発を行 い、ワークライフバランスを実現する職場環境づくりを促す。 ○「いのち支える山形県自殺対策計画（第2期）」に基づき、自殺対策を 支える人材の育成に取り組んでいく。 【地域福祉推進課】	
12		社会活動を行って いる者の増加	いずれかの社会活動(就労・就学を含む)を行っ ている者の割合(20歳以上)				ー ※		ー	R10値から 2.5%増			ー
13		心のサポーター (ゲートキー パー)の増加	「心のサポーター」(ゲートキーパー)養成者数(県 計)				県地域福祉推進 課調べ		毎年	56,936人 (R4)			71,027人 (R6)
14	飲 酒	生活習慣病のリス クを高める量を飲 酒している者の割 合の減少	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒し ている者の割合(20歳以上)	男性	県民健康・栄養 調査	4～6年毎 次回調査R10 公表時期R12.4月	17.7% (R4)	同左	13% (R14)	ー	○「山形県アルコール健康障害対策推進計画（第2期）」に基づく対策を 実施【健康福祉企画課】 ○相談窓口（精神保健福祉センター、保健所等）の周知【障がい福祉課】 ○出前講座の実施 ○啓発漫画（大人版・子ども版）などを活用し、飲酒による生活習慣病の リスクについて啓発	○引き続き1日あたりの適正な飲酒量や飲酒による健康への影響等につい て啓発していく。 ○アルコールに関する問題を抱える人へ相談窓口を周知し、支援につなげ ていく。【障がい福祉課】	
15				女性			10.8% (R4)		同左	6.4% (R14)			ー
16	喫 煙	喫煙者の減少	喫煙率(20歳以上)		県民健康・栄養 調査	4～5年毎 次回調査R10 公表時期R12.4月	17.2% (R4)	同左	12% (R14)	ー	○保健所への禁煙相談窓口の設置 ○喫煙による身体への悪影響等について職員出前講座による周知啓発 ○各種イベント等において喫煙が健康へ及ぼす影響を啓発 ○禁煙治療実施医療機関を県のホームページで紹介 ※受動喫煙防止対策については「自然に健康になれる環境づくり」を参照	○引き続き喫煙による健康への影響等について啓発するとともに、禁煙相 談窓口の設置等により禁煙を促していく。 ○受動喫煙防止を呼び掛ける啓発動画をCMとして配信する。	

通し 番号	分 野	目 標	評 価 指 標		指標出典	指標の更新頻度 次回公表時期	プラン 策定時	直近値	目標値	評価	令和7年度の県の主な取組み（実績）	令和8年度の取組み予定	
17	こどもの健康	児童・生徒における肥満傾向児の減少	児童・生徒における肥満傾向児の割合	小学5年生男子	学校保健統計調査	毎年	16.16% (R4)	15.96% (R7)	減少	A	○「減塩・ベジアッププロジェクト」の展開 ・米沢栄養大学監修の「減塩リーフレット」「減塩カレンダー」を活用した減塩・ベジアップ教育の実施 ・応援企業のレシピを活用したモデル校における減塩・ベジアップ給食の展開 ○生活習慣病予防CM動画の配信（運動・ウォーキング編、毎日朝食編） ○「学校食育推進会議」の開催による食育の重要性の認識の共有化と普及啓発【学校体育保健課】 ○「心を育む学校給食週間」における食育に係る各学校独自の取組みの実施と取組み内容の普及啓発【学校体育保健課】 ○小学生（高学年）、中学生及び高校生の食に関する理解促進を図るため学校に専門家を派遣し、講演会等を実施【学校体育保健課】 ○プロスポーツチームと連携した栄養教諭等による食の指導を実施【学校体育保健課】 ○総合型地域スポーツクラブへの支援【スポーツ振興課】	○「減塩・ベジアッププロジェクト」の展開を継続し、減塩や野菜摂取量の増加を促す。 ○県ホームページや動画配信などによる情報発信を通して、「望ましい食生活」の普及や運動習慣の定着を促進する。 ○生活習慣病予防CM動画を配信（運動・ウォーキング編、毎日朝食編）し、啓発を行う。 ○栄養教諭等を中心とした食育の実践活動や専門家派遣等による学習、朝食摂取の重要性をはじめとした食に関する知識の習得や、健康に配慮した食事、食生活を実践する力の育成を図るなど、食育をさらに推進する。 【学校体育保健課】 ○総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団への支援を継続し、子どものスポーツ機会の充実を図る。【スポーツ振興課】	
18			小学5年生女子	13.95% (R4)			12.93% (R7)	減少	A				
19		こどもの頃からの健康的な食習慣と運動習慣の定着	児童・生徒の朝食欠食率	小学6年生	全国学力・学習状況調査	毎年	14.6% (R5)	14.9% (R7)	10% (R6)	C			
20				中学3年生			18.2% (R5)	18.3% (R7)	10% (R6)	C			
21			こども(小学生)のスポーツ実施率 (1日60分以上)	男子	全国体力・運動能力、運動習慣等調査	毎年	50.6% (R4)	48.3% (R7)	60% (R6)	C			
22				女子			31.6% (R4)	29.3% (R7)	60% (R6)	C			
23		20歳未満の者の飲酒・喫煙をなくす	20歳未満の者の飲酒割合	高校3年生男子	県民健康・栄養調査	4～6年毎 次回調査R10 公表時期R12.4月	0% (R4)	同左	0% (R14)	—		○出前講座の実施 ○啓発漫画（子ども版）などを活用し、飲酒による生活習慣病のリスクについて啓発 ○街頭キャンペーン、キャラバン隊による喫煙防止に向けた啓発 ○学校における喫煙防止教育の実施【学校体育保健課】 ○学校への専門医派遣による講演等の実施【学校体育保健課】	○引き続き飲酒や喫煙による健康への影響等について啓発していく。 ○関係機関・団体との連携を強化し、各学校における喫煙防止教育を一層充実する。【学校体育保健課】
24				高校3年生女子			0% (R4)	同左	0% (R14)	—			
25			20歳未満の者の喫煙率	高校3年生男子			0% (R4)	同左	0% (R14)	—			
26				高校3年生女子			0% (R4)	同左	0% (R14)	—			
27	女性の健康	若年女性のやせの者の減少	20～30歳代女性のやせの者の割合 (やせの者:BMI18.5未満)		県民健康・栄養調査	4～6年毎 次回調査R10 公表時期R12.4月	17.2% (R4)	同左	15% (R14)	—	○食生活改善推進協議会等関係団体や企業と連携し、食生活改善を啓発 ○生活習慣病予防CM動画の作成・配信（毎日朝食編、運動・ウォーキング編、骨粗しょう症予防編） ○ウォーキングプロジェクトの展開 ○健康経営の推進、働き盛り世代の健康UPサポート事業費補助金による支援 ○やまがた健康マイレージ事業の実施 ○「やまがた健康フェア2025」の開催（9月） ○健康運動指導者研修会の開催 ○県スポーツ・レクリエーション祭の開催【スポーツ振興課】 ○総合型地域スポーツクラブへの支援【スポーツ振興課】 ○市町村において、妊婦を対象とした各種教室、相談等での普及啓発及び相談を実施【こども安心保育支援課】 ○市町村と連携し飲酒や喫煙が胎児や母乳に与える影響に関する正しい知識の普及啓発のため、母子健康手帳交付時や母親（両親）学級等においてパンフレット配布等を実施【こども安心保育支援課】 ○健康増進事業による骨粗鬆症検診を実施する市町村への支援	○イベントや県ホームページなどの機会を捉え、「望ましい食生活」や適正体重の維持について普及啓発に努める。 ○引き続き「ウォーキングプロジェクト」を展開し、働き盛り世代からシニア世代まで、広く県民が日常生活に運動を取り入れるよう促していく。 ○生活習慣病予防CM動画を配信（毎日朝食編、運動・ウォーキング編、骨粗しょう症予防編）し、啓発を行う。 ○老若男女が参加しやすいスポーツ交流会を実施する等、スポーツを実践する機会を提供していく。【スポーツ振興課】 ○市町村と連携し、母子健康手帳交付時や各種母子保健関係の教室等において、飲酒や喫煙、やせが妊娠や胎児に与える影響について正しい知識を普及する。性別を問わず、性や妊娠に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザインや将来の健康を考えて健康管理を行うプレコンセプションケアを普及するため、セミナー等を開催する。【こども安心保育支援課】 ○健康増進事業により骨粗鬆症の早期発見・早期治療に向けた環境を整備する。	
		運動習慣者の割合の増加	運動習慣者の割合(20歳以上)【再掲】	女性			36.1% (R4)	同左	40% (R14)	—			
		1日あたり平均歩数の増加	1日の歩数の平均値(20～64歳)【再掲】	女性	国民健康・栄養調査	6年毎	5,893歩 (H28)	6,612歩 (R6)	8,000歩 (R14)	B			
		生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(20歳以上)【再掲】	女性	県民健康・栄養調査	4～6年毎 次回調査R10 公表時期R12.4月	10.8% (R4)	同左	6.4% (R14)	—			
28		妊娠中の女性の飲酒・喫煙をなくす	妊娠中の女性の飲酒割合		母子保健事業実施状況等報告	毎年	0.5% (R3)	0.5% (R5)	0% (R14)	C			
29			妊娠中の女性の喫煙率				0.8% (R3)	0.9% (R5)	0% (R14)	C			
30		骨粗鬆症検診受診率の向上	骨粗鬆症検診受診率		県がん対策・健康長寿日本一推進課調べ	毎年	6.3% (R4)	6.9% (R6)	15% (R14)	C			
31	高齢者の健康	高齢者の身体機能の維持向上	BMI20以下の高齢者(65歳以上)の割合	男性	県民健康・栄養調査	4～6年毎 次回調査R10 公表時期R12.4月	10.9% (R4)	同左	13% (R14)	—	○低栄養予防に向けた食べ方・レシピ等の普及 ○「やまがた健康フェア2025」の開催（9月） ・食生活改善、運動習慣の定着を啓発 ○食生活改善推進協議会等関係団体や企業と連携し、食生活改善を啓発 ○ウォーキングプロジェクトの展開 ・健康長寿日本一ウォーキングWEB大会、デジタルウォーキングスタングラリー、歩き方教室の開催 ○「やまがた健康マイレージ事業」の実施 ○生活支援コーディネーターの資質向上に向けた研修会の開催【高齢者支援課】 ○「通いの場」における介護予防プログラムの実践【高齢者支援課】 ○老人クラブ活動への助成【高齢者支援課】	○イベントや県ホームページなどを活用し「望ましい食生活」や低栄養予防、適正体重の維持について普及啓発に努める。 ○引き続き「ウォーキングプロジェクト」を展開し、働き盛り世代からシニア世代まで、広く県民が日常生活に運動を取り入れるよう促していく。 ○引き続き生活支援コーディネーターを対象に、研修及び情報交換会を開催する。【高齢者支援課】 ○引き続き市町村が主催する通いの場研修会等において専門職を派遣し、介護・フレイル予防プログラムの普及を促進する。【高齢者支援課】 ○引き続き老人クラブ活動への支援により、活動の充実を促していく。【高齢者支援課】	
31-2				女性			19.3% (R4)	同左	—	—			
32			主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合(65歳以上)	— ※	—	50% (R14)	—						
33		足腰に痛みのある高齢者の人数(人口千人当たり、65歳以上)	国民生活基礎調査(大規模調査)	3年毎 次回調査R7 公表時期R8.7月	218.2 (R4)	同左	210 (R14)	—					
34		社会活動を行っている高齢者の増加	いずれかの社会活動(就労・就学を含む)を行っている高齢者の割合(65歳以上)		県民健康・栄養調査	4～6年毎 次回調査R10 公表時期R12.4月	— ※	—	R10値から5%増	—			
35	自然に健康になれる環境づくり	受動喫煙をなくす	受動喫煙の機会を有する者(20歳以上)の割合	職 場	県民健康・栄養調査	4～6年毎 次回調査R10 公表時期R12.4月	15.4% (R4)	同左	0% (R14)	—	○改正健康増進法及び山形県受動喫煙防止条例（H30年12月公布）を踏まえた施設等における受動喫煙防止対策の推進 ○イエローグリーンキャンペーンなど各種イベント等における受動喫煙防止に関する普及・啓発 ○関係機関・団体、飲食店等への個別訪問による受動喫煙防止対策に取り組む施設の拡大 ○店内禁煙とした飲食店に禁煙標識（ステッカー）を交付し、標識掲示店を県ホームページで紹介 ○生活習慣病予防CM動画の作成・配信（受動喫煙防止編） ○市町村と連携し受動喫煙が胎児や母乳、子どもに与える影響に関する正しい知識の普及啓発のため、母子健康手帳交付時や母親（両親）学級等においてパンフレット配布等を実施【こども安心保育支援課】	○各種イベント等様々な機会を捉え、改正健康増進法及び山形県受動喫煙防止条例を周知し、受動喫煙防止を推進する。 ○受動喫煙防止を呼び掛ける啓発動画をCMとして配信する。 ○飲食店等への個別訪問を継続し、受動喫煙防止に取り組む施設の拡大に引き続き取り組む。 ○市町村と連携し、家庭での受動喫煙防止について啓発していく。 ○市町村と連携し、母子健康手帳交付時や各種母子保健関係の教室等において、飲酒や喫煙、やせが妊娠や胎児に与える影響について正しい知識を普及する。性別を問わず、性や妊娠に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザインや将来の健康を考えて健康管理を行うプレコンセプションケアを普及するため、セミナー等を開催する。【こども安心保育支援課】	
36				家 庭			13.8% (R4)	同左	0% (R14)	—			
37				飲食店			11.0% (R4)	同左	0% (R14)	—			
38		自然に健康になれる食環境づくりに取り組む企業の増加	「やまがた健康づくり応援企業」登録数		県がん対策・健康長寿日本一推進課調べ	随時	17社 (R5)	25社 (R7)	25社 (R14)	A			
39	誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備	健康経営に取り組む事業所の増加	「やまがた健康企業宣言」登録事業所数		全国健康保険協会山形支部「やまがた健康企業宣言」登録事業所数	3～4か月毎	1,554社 (R5.8月)	1,917社 (R8.1月)	3,000社 (R14)	B	○「やまがた健康づくり大賞」（健康経営部門）による優良事例の普及 ○働き盛り世代の健康UPサポート事業費補助金による支援 ○県政テレビによる健康経営の発信 ○建設工事入札参加資格審査における「やまがた健康企業宣言」登録事業所等の加点措置を継続（令和4年11月定期受付～） 【建設企画課】	○健康経営に係る県独自の認定制度を新たに設けるながら普及啓発を行い、取組みを新たに始める企業の裾野を拡大する。 ○建設工事入札参加資格審査における「やまがた健康企業宣言」登録事業所等の加点措置を継続【建設企画課】	
40		管理栄養士等が栄養管理を行っている給食施設の増加	管理栄養士又は栄養士を配置している特定給食施設(病院、介護老人保健施設、介護医療院を除く)の割合		衛生行政報告例	毎年	75.3% (R4)	74.1% (R6)	80% (R14)	C	○特定給食施設等への給食・栄養管理指導	○栄養指導員による給食施設の巡回指導等を継続し、給食施設における栄養管理の質の向上と、管理栄養士・栄養士未配置施設への配置の促進を図る。	

通し 番号	分 野	目 標	評 価 指 標	指標出典	指標の更新頻度 次回公表時期	プラン 策定時	直近値	目標値	評価	令和7年度の県の主な取組み（実績）	令和8年度の取組み予定		
41	糖 尿 病	糖尿病による合併症の減少	糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数	日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況」	毎年	125人 (R3)	101人 (R6)	118人 (R14)	A	○山形県糖尿病及び慢性腎臓病重症化予防事業の実施 ・医療機関と地域（保険者）との連携構築事業として、置賜地域糖尿病及び慢性腎臓病重症化予防に関する連絡会や最上地域における糖尿病カードシステムを使用した糖尿病及び慢性腎臓病重症化予防モデル事業事例検討会の開催 ・データ分析によるハイリスク者の抽出及び人工透析導入ハイリスクアプローチ ・市町村向け糖尿病療養指導士人材育成 ・糖尿病等対策検討会の開催 ○「山形県糖尿病及び慢性腎臓病重症化予防プログラム」に基づく 医療機関未受診者や治療中断者に対する受診勧奨保健指導の強化 ○「やまがた健康フェア2025」の開催（9月） ・県医師会と連携し、糖尿病セミナーを実施 ○生活習慣病予防CM動画の配信（糖尿病予防編、特定健診・特定保健指導編） ○特定保健指導従事者研修会の開催	○市町村及び県医師会等と連携し、糖尿病の発症の予防に向け、生活習慣改善のために自主的に健康づくりに取り組むことができる環境の整備を引き続き推進する。 ○各種イベントや動画配信等を通して、健康的な食生活や適度な運動の重要性について、啓発を行っていく。 ○「山形県糖尿病及び慢性腎臓病重症化予防プログラム」に沿って、山形県糖尿病及び慢性腎臓病重症化予防事業を推進し、医療機関と地域との連携やハイリスク者の支援を強化していく。 ○生活習慣病予防CM動画を配信（糖尿病予防編、特定健診・特定保健指導編）し、啓発を行う。		
42		メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	平成20年度と比べたメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率	厚生労働省「メタボ減少率推計シート」より	毎年	18.9%の減少 (R3)	22.2%の減少 (R5)	25%以上の減少 (R11)	B				
43		特定健診・特定保健指導の実施率の向上	特定健診の受診率	特定健診・特定保健指導の実施状況	毎年	66.3% (R3)	69.9% (R5)	70% (R11)	B				
44			特定保健指導の実施率(終了率)			29.8% (R3)	33.9% (R5)	45% (R11)	B				
45		かかりつけ医と医療保険者・市町村との連携推進	『山形県糖尿病及び慢性腎臓病重症化予防プログラム』に基づき医療機関から保健指導の依頼を受けた市町村数(令和3年度以降の累計)	県がん対策・健康長寿日本一推進課調べ	毎年	20 (R4)	22 (R6)	35 (R14)	C				
46	慢性閉塞性肺疾患	COPDの死亡率の低下	COPDの死亡率(人口10万対)	人口動態統計	毎年	18.3 (R3)	16.3 (R6)	13.7 (R14)	B	○保健所への禁煙相談窓口の設置 ○喫煙による身体への悪影響等について職員出前講座による周知啓発 ○各種イベント等における喫煙が健康へ及ぼす影響に関する普及・啓発 ○禁煙治療実施医療機関を県のホームページで紹介	○引き続き喫煙による健康への影響等について啓発するとともに、禁煙相談窓口の設置等により禁煙を促していく。		
47	がん	がん罹患率の減少	がんの年齢調整罹患率(人口10万対)	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」	毎年	男女計 375.9 (R1)	男女計 384.3 (R3)	減少 (R11)	C	○「みんなで取り組む『がん対策県民運動』」の推進 ・乳がんリーフレットの市町村配布による乳がん検診の受診啓発 ・子宮頸がん及び乳がん検診の休日検診の実施 ・がん教育の一環として、子どもから大切な家族にがん検診受診を促すメッセージ事業の実施 ・若い頃からがん予防に対する関心を高めるため、健康教室による正しい知識やがん予防の普及啓発 ・若者ががん患者の在宅ターミナルケアに要する費用の助成 ・医療用ウィッグ、乳房補整具購入費への助成 ・公的保険適用外の重粒子線がん治療費の助成 ○生活習慣病予防CM動画の作成・配信（子宮頸がん予防編、受動喫煙防止編） ○禁煙の推進と受動喫煙防止 ・保健所への禁煙相談窓口の設置 ・各種イベント等における喫煙が健康へ及ぼす影響に関する普及・啓発 ・禁煙治療実施医療機関を県のホームページで紹介 ○生活習慣病検診等管理指導協議会においてがん検診の評価、検討を実施 ○がん登録の実施と研修会参加による実務担当者の能力向上 ○「やまがた健康マイレージ事業」によるがん検診受診の促進 ○「やまがた健康フェア2025」の開催（9月） ・関係団体・企業と連携し、がん検診受診を啓発 ○山形テレビ制作「山形がん検診ガイドブック」の配布	○引き続き市町村や関係団体と連携して「みんなで取り組む『がん対策県民運動』」を推進するとともに、イベントの開催や動画配信などの情報発信を行い、がん検診や精密検査の受診率向上を目指す。 ○引き続きがん検診の精度の確保・向上に向けた取り組みを推進する。 ○生活習慣病予防CM動画の作成・配信（子宮頸がん予防編、受動喫煙防止編、がん検診受診編）し、啓発を行う。 ○受動喫煙防止や禁煙支援を推進する。		
48		がんによる死亡率の減少	がんの75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)		毎年	男女計 65.6 (R3)	男女計 64.2 (R6)	男女計 55 (R11)	C				
49		がん生存率の向上	がんの5年生存率		毎年 次回調査H27- H28(2015-2016) 公表時期未定	64.7% (2014-2015)	同左	70% (R11)	—				
50		がん患者の生活の質の向上	現在自分らしい日常を送れていると感じるがん患者の割合	患者体験調査	不定期 おおむね5年ごと	70.3% (H30)	86.7% (R5)	80% (R11)	A				
		喫煙者の減少	喫煙率(20歳以上)【再掲】	県民健康・栄養調査	4～6年毎 次回調査R10 公表時期R12.4月	17.2% (R4)	同左	12% (R14)	—				
						15.4% (R4)	同左	0% (R14)	—				
						13.8% (R4)	同左	0% (R14)	—				
						11.0% (R4)	同左	0% (R14)	—				
51		がんの1次予防の推進	肝炎治療費助成受給者数(累計)	県健康福祉企画課調べ	毎年	4,061人 (R4)	4,251人 (R6)	4,900人 (R11)	C				
52		がんの2次予防の推進	がん検診の受診率	国民生活基礎調査(大規模調査)	3年毎 次回調査R7 公表時期R8.7月	63.5% (R4)	同左	70% (R11)	—				
64.7% (R4)						同左	—						
69.0% (R4)						同左	—						
61.7% (R4)						同左	—						
56						57.5% (R4)	同左		—				
57			がん検診(住民健診)の精密検査受診率	地域保健・健康増進事業報告	毎年	77.6%～ 98.7% (R1)	75.7%～ 97.3% (R4)	95% (R11)	C				
58		がん医療提供体制の充実	がん医療提供体制の充実	がん医療提供体制の充実	毎年	1,585件 (R4)	1,448件 (R6)	2,000件 (R11)	C				
59		緩和ケア提供体制の充実	緩和ケア研修修了医師数の累計	県がん対策・健康長寿日本一推進課調べ	毎年	214医療機関 1,749名 (R4)	215医療機関 1,998名 (R7)	2,000名 (R11)	B			○がん診療連携拠点病院・指定病院が行う緩和ケア研修会、がん医療従事者研修会、がん診療連携協議会等への支援 ○山形県がん・生殖医療ネットワークの強化 ○病院外のがんに関する相談窓口である「がん総合相談支援センター」の設置と各種広報媒体を活用した周知	○がん診療連携拠点・指定病院が行う緩和ケア研修会等への支援を継続することで、緩和ケア従事者を養成し、切れ目のない緩和ケアを提供していく。 ○山形県がん・生殖医療ネットワークの運営により、妊よう性温存療法に対するがん治療医やがん生殖医の理解を促すとともに、連携を強化する。 ○がん総合相談支援センターを設置し、がんに関する情報提供や相談体制を整備する。
60			緩和薬物療法認定薬剤師の配置割合(拠点・指定病院)		毎年	5/7病院 (R4)	4/7病院 (R6)	7/7病院 (R11)	C				
61	妊よう性温存療法及び生殖補助医療に関する人材育成の推進	がん・生殖医療の意思決定支援に関する人材育成を実施している拠点・指定病院の割合	毎年	4/7病院 (R4)	7/7病院 (R6)	7/7病院 (R11)	A						
62	がん相談窓口の認知度の向上	がん相談窓口における相談受理件数	毎年	6,831件 (R4)	7,066件 (R6)	7,400件 (R11)	B						
63	がんと診断後も仕事を継続する勤労者の増加	がんと診断後も仕事を継続していたがん患者の割合	患者体験調査	不定期 おおむね5年ごと	61.4% (H30)	50.5% (R5)	65% (R11)	C					
64	がん医療に携わる専門医療従事者の増加	放射線治療専門放射線技師の配置割合(拠点・指定病院)	県がん対策・健康長寿日本一推進課調べ	毎年	6/7病院 (R4)	6/7病院 (R6)	7/7病院 (R11)	C					
65		日本医療薬学会認定のがん専門薬剤師の配置割合(拠点・指定病院)			4/7病院 (R4)	4/7病院 (R6)	7/7病院 (R11)	C					

通し 番号	分 野	目 標	評 価 指 標		指標出典	指標の更新頻度 次回公表時期	プラン 策定時	直近値	目標値	評価	令和7年度の県の主な取組み（実績）	令和8年度の取組み予定				
66	循環器病	循環器病による死 亡者の減少	脳血管疾患による年齢調整死亡率 (人口10万対)		男性 女性 人口動態統計特 殊報告	5年毎 次回調査R7 公表時期R10.12月	114.6 (R2)	同左	減少 (R11)	—	○循環器病対策「動画」及び「漫画」による啓発 ○脳卒中・心臓病等総合支援センターの運営（山形大学医学部附属病院へ委託） ○県内の脳卒中・心筋梗塞患者の発症、死亡等を調査し、効果的な予防や治療方法等の対策に活用 ○循環器病に関わる専門知識を有する医療従事者育成研修会を開催	○引き続き循環器病対策「動画」及び「漫画」を活用し、循環器病の前兆や初期症状の早期発見、医療機関の早期受診、A E Dの使用を含めた救命処置の重要性等を啓発していく。 ○脳卒中・心臓病等総合支援センターについては、県の補助事業として運営を継続する。 ○山形県脳卒中・心筋梗塞発症登録評価研究事業を継続する。 ○循環器病に精通し、急性期から緩和ケアまで切れ目のない医療を担う多職種人材を育成する。				
67							71.4 (R2)	同左	減少 (R11)	—						
68			虚血性心疾患による年齢調整死亡率 (人口10万対)				82.8 (R2)	同左	減少 (R11)	—						
69							35.4 (R2)	同左	減少 (R11)	—						
70		循環器病の予防	平成20年度と比べたメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率【再掲】		厚生労働省「メタボ減少率推計シート」より	毎年	18.9%の減少 (R3)	22.2%の減少 (R5)	25%以上の減少 (R11)		○健康増進事業評価検討会の実施、啓発動画の配信等による特定健診、特定保健指導受診の普及啓発 ○「減塩・ベジアッププロジェクト」の展開 ・「やまがた健康づくり応援企業」によるベジアップ商品、減塩商品の啓発、販売 ○ウォーキングプロジェクトの展開 ・健康長寿日本一ウォーキングWEB大会、デジタルウォーキングスタンブラリー、歩き方教室の開催 ○健康経営の推進、働き盛り世代の健康U Pサポート事業費補助金による支援 ・従業員の健康の保持・増進のためにウォーキングの取組みを行う企業に助成、県政テレビによる発信 ○生活習慣病予防CM動画を配信（減塩・ベジアップ編、運動・ウォーキング編、特定健診・特定保健指導編）	○特定健診・特定保健指導の受診の啓発 ○「減塩・ベジアッププロジェクト」の展開を継続し、減塩や野菜摂取量の増加を促す。 ○引き続き「ウォーキングプロジェクト」を展開し、働き盛り世代からシニア世代まで、広く県民が日常生活に運動を取り入れるよう促していく。 ○生活習慣病予防CM動画を配信（減塩・ベジアップ編、運動・ウォーキング編、特定健診・特定保健指導編）し、啓発を行う。				
71			特定健診の受診率【再掲】		特定健診・特定保健指導の実施状況	毎年	66.3% (R3)	69.9% (R5)	70% (R11)							
72			特定保健指導の実施率(終了率)【再掲】				29.8% (R3)	33.9% (R5)	45% (R11)							
73			特定健診における血圧有所見率(収縮期血圧130mmHg以上)	男性	厚生労働省NDBデータより	毎年	47.3% (R2)	46.1% (R4)	減少 (R11)	A						
74				女性			38.2% (R2)	38.7% (R4)	減少 (R11)	C						
75			特定健診における血糖値有所見率(HbA1c5.6%以上)	男性			53.8% (R2)	51.4% (R4)	減少 (R11)	A						
				女性			53.5% (R2)	54.6% (R4)	減少 (R11)	C						
			特定健診におけるコレステロール有所見率(LDL 120mg/dl以上)	男性			53.8% (R2)	50.0% (R4)	減少 (R11)	A						
		女性		53.7% (R2)			50.7% (R4)	減少 (R11)	A							
76	生活習慣の改善	20～50歳代男性の肥満者の割合(肥満者: BMI25以上)【再掲】		県民健康・栄養調査	4～6年毎 次回調査R10 公表時期R12.4月	35.4% (R4)	同左	28% (R14)	—	○「減塩・ベジアッププロジェクト」の展開 ・「やまがた健康づくり応援企業」によるベジアップ商品、減塩商品の啓発、販売 ○食生活改善推進員の地域活動による減塩の啓発 ○ウォーキングプロジェクトの展開 ○生活習慣病予防CM動画の配信（減塩・ベジアップ編、運動・ウォーキング編） ○健康経営の推進、働き盛り世代の健康U Pサポート事業費補助金による支援 ○保健所への禁煙相談窓口の設置 ○各種イベント等における喫煙が健康へ及ぼす影響に関する普及・啓発	○「減塩・ベジアッププロジェクト」の展開を継続し、減塩や野菜摂取量の増加を促す。 ○引き続き「ウォーキングプロジェクト」を展開し、働き盛り世代からシニア世代まで、広く県民が日常生活に運動を取り入れるよう促していく。 ○引き続き飲酒や喫煙による健康への影響等について啓発していく。 ○生活習慣病予防CM動画を配信（減塩・ベジアップ編、運動・ウォーキング編）し、啓発を行う。					
77		食塩摂取量の平均値(20歳以上)【再掲】				10.5g (R4)	同左	8g(R10) 7g(R14)	—							
78		運動習慣者の割合(20歳以上)【再掲】	男性			45.6% (R4)	同左	50% (R14)	—							
79			女性			36.1% (R4)	同左	40% (R14)	—							
80		睡眠による休養を十分とれている者の割合(20歳以上)【再掲】				78.2% (R4)	同左	80% (R14)	—							
81		生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(20歳以上)【再掲】	男性			17.7% (R4)	同左	13% (R14)	—							
82			女性			10.8% (R4)	同左	6.4% (R14)	—							
83		喫煙率(20歳以上)【再掲】				17.2% (R4)	同左	12% (R14)	—							
84		救急搬送体制の整備	脳梗塞発症後4.5時間以内来院者数の割合			山形県対脳卒中治療研究会報告	毎年 次回調査R5 公表時期R7.3月	28.5% (R3)	28.4% (R5)			40% (R11)	C	○循環器病対策「動画」及び「漫画」による啓発 ○循環器病に関わる専門知識を有する医療従事者育成研修会を開催	○引き続き循環器病対策「動画」及び「漫画」を活用し、循環器病の前兆や初期症状の早期発見、医療機関の早期受診、A E Dの使用を含めた救命処置の重要性等を啓発していく。 ○循環器病に精通し、急性期から緩和ケアまで切れ目のない医療を担う多職種人材を育成する。	
85			心筋梗塞患者に占める病院到着前死亡者の割合					36.1% (R3)	33.9% (R5)			30% (R11)	B			
86	歯・口腔の健康	歯の喪失防止と口腔機能の維持	8020達成者の割合		県民健康・栄養調査	4～6年毎 次回調査R10 公表時期R12.4月	57.2% (R4)	同左	85% (R14)	—	○歯科口腔保健の普及・啓発や調査などを行う「山形県口腔保健支援センター」の運営 ○歯科医療提供体制構築に向けた協議を行う検討委員会の設置 ○歯科健診受診促進のためのイベント等における普及啓発 ・「やまがた健康フェア2025」の開催（9月、お口の健康チェック） ○モデル事業所における歯科保健指導の実施と働き盛り世代のかかりつけ歯科医の普及・定着 ○乳幼児健康診査等において、歯みがき習慣の獲得等の歯科保健指導等を実施 ○児童生徒定期健康診断の県全体の結果を毎年度まとめ、各学校へ周知 ○特別支援学校におけるフッ化物歯面塗布の実施 ○障がい者歯科保健の従事者を対象とする研修会の開催 ○歯科保健教育の充実を図るための研究会の開催 ○歯科衛生士の復職支援のための研修会の開催 ○生活習慣病予防CM動画の作成・配信（歯周病予防編）	○県口腔保健支援センターが中心となり、かかりつけ歯科医や定期歯科健診の重要性について普及啓発に取り組んでいく。 ○新たに定期的な歯科受診を呼び掛ける啓発動画を作成し、CMとして配信する。 ○研修会の開催などにより、障がい者や在宅療養者などに対応する歯科保健従事者を育成していく。 ○各学校における歯科保健を充実させるため研究会の開催や関係機関と連携した取組みを推進する。 ○市町村と連携し、妊婦に対する歯科保健指導や、乳幼児の口腔ケア・食生活指導の充実などの取組みを推進する。				
87			歯間部清掃用具を使用している人の割合(18歳以上)				62.0% (R4)	同左	75% (R14)	—						
88			喫煙率(20歳以上)【再掲】				17.2% (R4)	同左	12% (R14)	—						
89			50歳以上における咀嚼良好者の割合				— ※	—	80% (R14)	—						
90			40歳以上における自分の歯が19本以下の者の割合				— ※	—	5% (R14)	—						
91			40歳における進行した歯周炎を有する者の割合				県がん対策・健康長寿日本一推進課調べ	毎年	54.0% (R3)	46.7% (R6)			30% (R14)	B		
92		乳幼児・学齢期の歯・口腔に関する健康格差の縮小	3歳児で4本以上のむし歯を有する者の割合		地域保健・健康増進事業報告	毎年	2.7% (R3)	2.5% (R5)	0% (R14)	C						
93			12歳児でむし歯のない者の割合		学校保健統計調査	毎年	78.0% (R4)	80.4% (R7)	90% (R14)	C						
94		過去1年間に歯科健診を受診した者の増加	過去1年間に歯科健診を受診した者の割合(18歳以上)		県民健康・栄養調査	4～6年毎 次回調査R10 公表時期R12.4月	56.3% (R4)	同左	95% (R14)	—						
95			かかりつけ歯科医を持つ者の割合(18歳以上)				85.1% (R4)	同左	90% (R14)	—						

評価集計(全90項目)

R8.2末時点

達成	おおむね改善	横ばい	悪化	評価不能
A	B	C	D	—
11	11	23	0	45
12.2%	12.2%	25.6%	0.0%	50.0%